

義務教育学校の校区に合わせた園区の見直し(3園から2園に再編)

安心して子どもを生み育てることができる環境づくりを推進するための「第2期王寺町子ども・子育て支援事業計画」を令和2年3月31日に策定しました。

町立幼稚園における主な施策の方向性

1. 令和4年度開校の義務教育学校の校区に合わせて園区を見直すことにより、3園から2園に再編します。

これまで、幼稚園と小学校の円滑な接続のために検討してきた園区の見直しについては、

・町立幼稚園の適正規模を確保します
1クラスの園児数のばらつき(最小19人、最大35人)を1クラス25人程度に平準化し、また、クラス替えができるよう、各学年2クラスを目指します。

・より良い人間関係を構築します
同じ町立幼稚園から義務教育学校に、より多くの顔見知りのお友達と一緒に進学することで、小学校生活への移行をスムーズにします。

・町立幼稚園の役割は…
幼稚園における集団生活において、協調性、社会性を育み、次の義務教育学校にその取組を引き継ぐことで、幼稚園から義務教育学校卒業までを含めた12年間の育ちを、しっかりとサポートします。

このことから、

令和4年4月に町立幼稚園を3園から2園に再編します。

現在の園区	王寺北幼稚園 久度・舟戸・王寺 葛下1丁目	王寺幼稚園 本町・畠田・藤井・元町 葛下2~4丁目 太子2丁目の一部	王寺南幼稚園 明神・南元町 太子 (太子2丁目の一部を除く)
	【仮称】王寺北幼稚園 久度・舟戸・王寺・葛下 本町・藤井・元町	【仮称】王寺南幼稚園 明神・南元町 太子・畠田	

※王寺幼稚園は令和4年3月末をもって廃園となります

2. 町立幼稚園の再編に合わせて、令和4年4月より、義務教育学校と併せて整備する新給食調理場を活用した給食を実施します。

保護者の皆様の負担の軽減やお子様の望ましい食習慣を確立するため、町立幼稚園での給食を実施します。

3. 預かり保育を引き続き実施します。

保護者の皆様のニーズに対応できるよう、実施日数の確保等を含めて見直しを図ります。

今後も保護者の皆様のご意見を伺いながら取り組んで参ります。

※詳しくは町公式サイト「町立幼稚園の見直しに関するQ&A」をご覧ください。

